

全開サーキット

RUN!

番外編

CRの若手
チャンピオン・トリオが
トライアル練習走行会に盛り込み!

1人2本勝負、3人で挑む

セントラルで勝負だ

団体タイム6本勝負!!

松村ロードスター(トライアル)

Team-トライアル

松村

(NASC vs NABC) マル正

Teamカーロード

1本目 (自分のマシン)	計測できず	引き分け	2分00秒150	ロードスター 対決
2本目 (相手のマシン)	1分54秒938	×	1分52秒923	

長次 (AE86 vs AE86) マサヤ

1本目 (自分のマシン)	1分52秒378	○	×	1分54秒969	ハチロク 対決
2本目 (相手のマシン)	1分50秒121	○	×	1分52秒294	

藤根 (NABC vs EF9) 長次

1本目 (自分のマシン)	2分02秒819	×	○	1分54秒341	対決 初心者
2本目 (相手のマシン)	2分01秒832	×	○	1分54秒201	

スポーツツインエンジン性能を存分に発揮。1本目は計測機のトラブルのため、計測できず。引き分けに。結果が3月24日定例走行会に盛り込まれたことに注意



車中ハチロク
(トライアル)

CRマサヤのハチロクでチャッカリ6人トリオタイムを叩き出した長次。2年ぶりにレジャーで遊んでみたいハチロクを叩きこくことの参加者だ



藤根ロードスター
(トライアル)

サーキット初参戦というサーキット初心者。ロードスター8スバルは基本的にはノーマルだが、スタビと4点式コイルオーバーを装着するなど、ツボは叩いてマス!



マサヤAE86 (CR)

車が長いので、ひとりでフーのケガレで走らせ、その置き返りを待たせ! しかも1コーナーでウインドラップにハマること1本。スピンすること数え切れず!



この日のために準備なんかさっさと。せっせとハチロクを上げていたマサヤ。撮影中最後のクルクルとあって、最終コーナーでもサイドブレーンに頼りまし!



サーキット初参戦。受審でのクラッシュを恐れて、車中「ヒラメキアップ」状態で製作中のビデオを持ち込んだりした。撮影中、1コーナーで割に止まりました

♥ ラッキー ♥

3勝2敗1引き分けで
勝ちまったぜ!!

勝利者の声...

オレって天才?
プロを目指そうかしらん



長次 2勝0敗!

や、や、や、社長に認められる~



マル正
1勝1分け!



長次モン!
出直して家なせし!!



く、くやしやケー

マサヤ 0勝2敗!

「コトの始まりは、CR編纂部のマル正がトライアルを取組中のことじやった。」
「今度、セントラルでラテック練習走行会をするんやけど、勝負せえへんか? (牧原社長)」
「やったあ、クダで走れる」モチ「コンコッッッ」(マル正)」
「負けた方が、勝つ方に勝敗をオ」
「あんや」(牧原社長)」
「(マル正)」
「(の手は人数多いし)」(牧原社長)」
「(マル正)」
「馬場計測で思い通り、真ん中のもつかり、四角いマル正じゃこた。実話、雑誌の編集なんて仕事をしるすけど、編集室内にまとも

なクルマに乗っているヤツが居ないからなのだが、しかも、みんな偉いドラテックの持ち主ばかりだし。それでも同じく用意したのが、ロードスターというオンボロ車を見つけた。さすがに、これには牧原社長もあきれ返り、結局、この3台同程度のマシン同士で団体戦をなうことになったのだ。

結果は、天候、雨、路面、ウェットというコンディションの中、スピンの数でも圧倒していたハズのCRチャンピオン組がラッキーな勝利を手に入れたのである。合掌(社長、「コナソーサマ」)。

97 98 CR